

一般質問

7人が立つ / その4

機構改革と執行部体制を問う



佐々木 求 議員

体制確立を

佐々木 報道で「機構改革を行う七月までに、副町長職を残すかどうかを含めて検討する」とした点を伺います。

執行部体制は民主主義の長い歴史の一つの教訓である。体制的に具現化したものであり、金がかかるといった問題ではない。

それ自体が重要な政治的課題でもあり、町長以外の職員というのは、民主主義の組織的保証という点からも重要ではないのか。

この半年ほどが、町の組織体制、政策的展開が重要な時期だけに、町長一人の体制でなく、一日も早く副町長を置くべきではないのか。

町長 副町長を置かないと言ってるのではない。まずは県にお返しするのが先決、独走してはいけないと心に戒めを持つている。

また、機構改革は、町の弱点、企画部門の強化をする。そのために組織全体をどうしていけばよいか検討している。

住民の負託に十分応えられないだけのものを持つているかどうかという観点から検討し

たい。

要求にどう応えるか

佐々木 財政再建の中でも、若い職員の負担の軽減、子育て支援を進める等、従来の方向とは手法、視点を変えて少しずつ具体化されている。

今後、自らの頭で考え、住民要求を聞き「身の丈」にあったやり方で実現の視点から迫る必要がある。

財政再建と周辺事業、とり

わけ病院事業をきちんとしなければならぬ中で、今後住民から様々な要求が出てくると考えられる。要求具現化に集中と選択が必要となる。

町長が示した六項目に入らない、財政の根幹を揺るがす問題としての滞納問題等、言及がない。重要課題であるので日常的な取り組みを求め

町長 総合計画を始めたとする将来ビジョンを描き、ハードの整備を進め

るやり方は、施設などの箱物は一通りできたが、結果借金が負担としてのしかかっている。

事業を進めるうえで集中と選択に重点を置く。二年前考えても見なかつた状況で、本当に夕張のようにならなくてよかった。まだ他町並みの財政運営には十年はかかるが我慢のしどころで、着実に前に進む方法を考えながら機構改革に取り組む。



機構改革が期待される日野町

次の定例会は6月です

傍聴にお出かけください。

議会事務局(72-0335)